

平成22年度 第1回 自立支援協議会児童部会 発達障害支援部会会議

平成22年 11月 25日

場所 熊本県立天草養護学校

参加者 天草市福祉課・上天草市福祉課・苓北町福祉保健課・天草養護学校教諭
ステップb y ステップ・星光園・相談支援専門員

1 授業参観

2 協議検討

(1) 自立支援協議会児童部会 発達障害支援部会について

(2)

・自立支援協議会 児童部会の位置付けの説明

定例会等において事例発表なされた事例に関して、より専門的に課題解決の為に検討する場を招集し具体的に協議される場である。

・「自立支援協議会 児童部会 発達障害支援部会」の目的

H22.8.4 に天草地域自立支援協議会 全体会議が開かれ、その中で「今後、発達障がいの子どもたちの問題が表面化してくると思う。特に強度行動障がいの子どもたちに関しては是非市町で準備を進めてほしい」との意見が上がりました。

また、H22.10.26 に天草地域自立支援協議会 定例会が開かれ、その中で「地域の事業所で受け入れておられる発達障がい児（特に強度行動障がい）の方々に関する事例報告」がなされました。

よって、天草地域自立支援協議会では、天草圏域の障がい福祉・教育に関わる関係者で、発達障がいのある就学児に望まれる地域生活を実現する為、地域の障がい福祉・療育および教育及び地域の社会資源事業所が連携することにより、インクルーシブルな地域活動環境を実現できるよう課題の検討ならびに推進を図る事を目的とし、天草地域自立支援協議会専門部会で検討する事としました。

まずは、発達障がい児へ教育の現場で実施されている支援・配慮・教育的取り組みを、福祉の支援事業所につなぐ事と、福祉の現場（放課後及び長期休業中の生活の場を提供している、又はする予定の事業所及び団体）において、現在及び将来における社会・自立生活の為の情報及び要望を教育の現場へつなぐ事により、密接な連携体制を構築することを目的とし、必要時に応じて関係者で検討会を持ちたいと思い発達障害支援部会を立ち上げました。

(3) 自立支援協議会 定例会（H22.10.26 実施）で報告された事例発表

地域の事業所を利用中、かつ就学齢の事例についての報告が3例発表される。

(4) 連携体制の必要性に関する検討

卒業後、地域の事業所を利用しながら自立した生活を送る為には、その為のスキルを卒業までに身につけておく必要がある。

地域で利用中の事業所から、地域で生活して行く上で必要と思われるスキルの情報を就学先に提供するとともに、就学先ですでに身につけているスキルを事業所につなぐ為にも両者の連携は不可欠と思われる。

(5) 連携体制に関する具体的な検討

定期的な情報共有会と協議の場を設定

(6) 今後のスケジュールについて

年度内に再度、本会の目的やあり方の確認と、課題を煮詰める為の日程を決める

平成22年度 第2回 自立支援協議会児童部会 発達障害支援部会会議

平成23年 3月 16日

場所 熊本県立天草養護学校

参加者 天草市福祉課・上天草市福祉課・苓北町福祉保健課・天草養護学校教諭
ステップb y ステップ・星光園・相談支援専門員

検討協議

- (1) 事業所からの事例報告および課題提示
クールダウンのスキルを身につける必要あり
スケジュールに沿って見通しを持つ事と、変更に対応する事についてのスキルが必要

- (2) 天草養護学校から、対応等に関する教示と今後の課題の共有
具体的に学校で対応できている現在のスキルを提示
事業所と共有

- (3) 連携体制に関する具体的な検討
卒業後の事も含めて協議
来年度も継続して本会を実施する